

つるが港エリア お散歩マップ

舟溜り歩き

1 洲崎の高灯籠

江戸時代の灯台です。海上交通の要衝として賑わった敦賀港を行き来する船の目印でした。



2 千鳥湯

昭和初期創業の銭湯。朱色の壁が印象的な外観は、当時の銭湯で流行した宮造り様式で、今では貴重なものになっています。



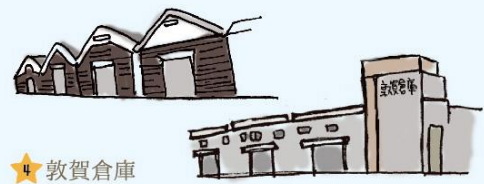
3 敦賀水産卸売市場

敦賀に水揚げされる魚や活気のある競りの様子を見学することができます。ガラス張りの見学ルームは自由に入室できます。



4 敦賀倉庫

昭和初期に流行したモダンな意匠の建物は、国の登録有形文化財にも登録されています。隣りに並ぶ木造倉庫は戦後まもなく建てられたもので、資材不足から屋根の大きさと構造がまちまちになっています。



5 みなとつるが山車会館

敦賀まつりに使われる6基の山車を展示しています。ビデオプロジェクターやスライドを使った迫力ある山車巡行の映像が見られます。別館には（戦国の敦賀城主）大谷吉継のコーナーもあります。



6 市立博物館

敦賀の歴史や民俗、美術に関する貴重な資料が並べられた博物館。建物は昭和2年に旧大和銀行として建てられたもので、昭和初期の優れた近代建築物のひとつに数えられています。



7 市場建設記念碑

大正4年に建設された青果市場の記念碑です。この市場に由来して、博物館通りにおいて「清明の朝市」が毎月第3日曜日に開催されています。



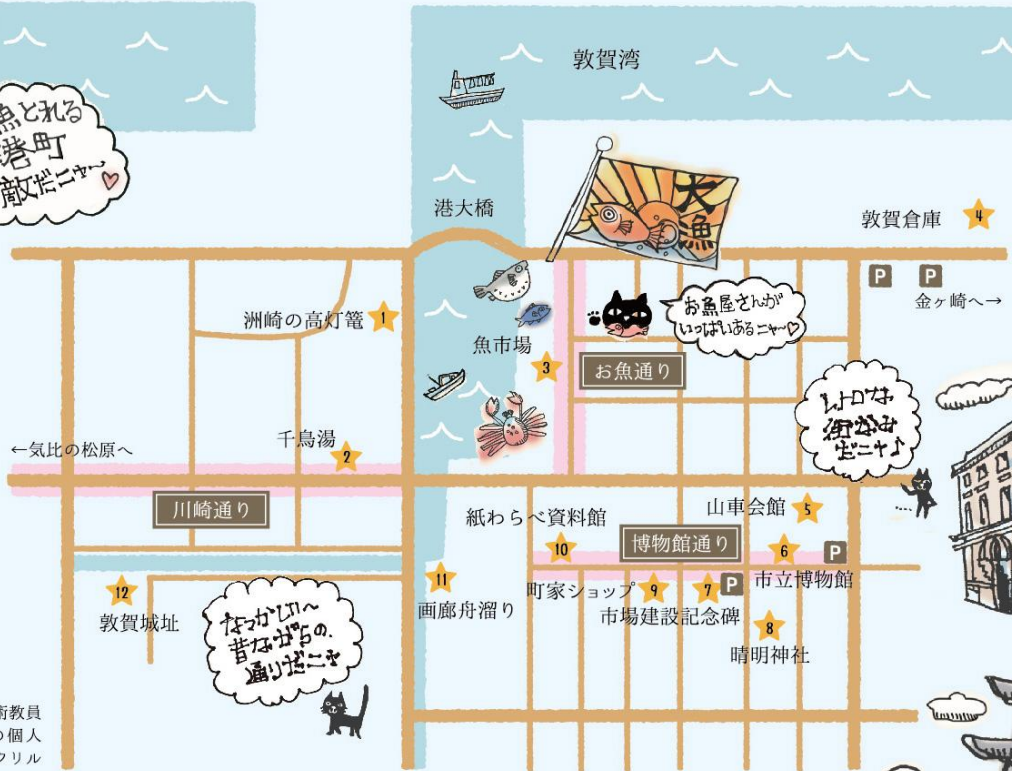
8 清明神社

陰陽道の大家、安倍晴明にちなんだ神社。拝殿には、研究に使ったとされる「祈念石」が鎮座しています。10世紀末をこの地で過ごし、天文学・地文学の研究を重ねたそうです。



9 町家ショップ

昔の面影が今も残る博物館通りの中心にある古い町家を改修してできた3店舗のショップ。



舟溜り周辺は、港町敦賀の商業の中心地だった場所。博物館通りには、大和田銀行だった西洋建築の市立博物館をはじめ当時の建物が残り、華やかだった昔の面影を今に伝えています。

12 敦賀城址

秀吉の小姓だった大谷吉継が、天下統一にむけた戦で武功を挙げ、敦賀五万石を与えられて入場した城でしたが、遺構はほとんど残っていませんが、わずかな礎石があります。



11 画廊舟溜り

長年敦賀の中学校で美術教員を勤めた奥山登さんの個人ギャラリー。油絵やアクリル画で描かれた敦賀の風景が自宅ガレージを開放した空間に並びます。



10 紙わらべ資料館

昔懐かしい風景や四季折々の風物詩、語り継がれてきた昔話を生き生きとした情景で表現した紙わらべの世界。日本の原風景を思い起こさせる作品が並ぶ資料館です。



全部和紙で作ってあってすごい！

おひねり。カフェやお店があるニャ〜

お魚とれる港町 羨敵だニャ〜

お魚屋さんがいっぱいあるニャ〜

しどろな街ぶなニャ〜

なつかしい昔なごらの通りだニャ〜